

たつくし  
**竜串**

**再生  
目標**

自然資源を将来にわたり保全し続け、その重要性を啓発し、それを持続可能な形で利活用することで、自然と共生した活力ある地域づくりを進めることを目指す。

**DATA**

エリア：足摺宇和海国立公園  
所在地：高知県土佐清水市  
着手：H15

**竜串の自然と共生した  
地域づくり協議会**

概要：竜串湾のサンゴを再生するため、海底に堆積した泥土の除去や、流域からの様々な環境負荷を抑制することを検討。現在は「竜串の自然と共生した地域づくり協議会 たつくし☆ネットワーク」として取り組みを継続。

設立日：H18.9.9  
全体構想作成日：H20.3.28  
実施計画作成日：H22.1.28  
(R2.2 現在)



エンタクミドリイシ



竜串湾は、高知県土佐清水市南西部に位置し、温暖な黒潮の影響を受けてイシサンゴ類をはじめ、多くの海中生物が生息しています。中でもシコロサンゴ群集はその規模の大きさから学術的にも高い価値を有しています。

しかし、竜串湾では開発や産業の影響による水質悪化およびサンゴ食害生物の大発生等に加え、平成13年の高知県西南豪雨により河川から大量の土砂が湾内に流入したことで多くのサンゴが死滅しました。そこで、流域全体の視点から、かつての造礁サンゴ類を中心とした海中景観と生態系を取り戻すための取り組みを進めてきました。

平成26年度には、目標はほぼ達成できたことから、今後は新たな協議会体制において「自然と共生した活力ある地域づくり」や自然資源の持続可能な形での利活用に重点をおき、「体制づくり」「担い手確保」に向けて実践していきます。



衰退したサンゴ群集



下層植生が発達していないヒノキ林地の林床（西の川流域）



湾内に流れ込んだ流木

**自然再生の手法**

- ▶ 竜串湾内に堆積した土砂の除去→①
- ▶ 河川流域の土砂発生源対策→②
- ▶ オニヒトデの駆除

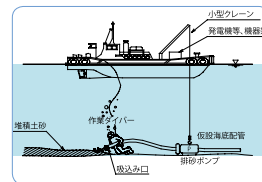
サンゴの成長を阻害する要因の排除については、湾内に堆積した土砂の除去に加え、河川流域の土砂発生源対策が求められます。

このため、サンゴ群集と周辺生態系、河川流域の現状調査を行い、合わせて海底堆積泥土除去実証試験を行っています。

また、流域全体での取り組みが重要であることから、情報発信・普及啓発および自然環境学習を推進しています。

**① 海底堆積泥土除去**

泥土堆積の著しいエリアにおいて、作業船から排砂ポンプを海底に下ろし、堆積した土砂を吸引します。また、これを仮設の海底配管で沿岸部に設置した水処理プラントまで送り、水分を除去した上で泥土を処分します。



作業船の仕組み



泥土除去状況（吸引）

**② 土砂発生源対策**

竜串湾に注ぎ込む河川上流部において、間伐などの森林整備、豪雨により崩壊した山腹の復旧工事、河川に堆積した土砂の浚渫など様々な取り組みが進められています。



林業者とボランティアが協働で行う森林整備（間伐など）



崩壊地の復旧工事



川にたまった土砂を取り除く工事

**事業の効果**

海・山・川の連携した取り組みにより、竜串湾の環境は、以前と比べ回復しており、湾内にはかつてのような美しいサンゴの森が広がっています。しかし、サンゴの攪乱につながる「土砂の流入」や「食害生物の発生」は今後も続いています。

海は、環境の変化とともにその姿を常に変えていくところです。竜串湾の「海の豊かさ」を将来にわたって守り育てていくためには、海環境の移り変わりを継続的に見守る活動（モニタリング）が必要です。そのためには、活動に協力する「ひと」が必要不可欠となります。今後は、回復した自然資源を活かし、利用の促進を図ることを通じて地域づくりにも貢献するとともに、環境学習等を通じて子どもたちへの理解も深め、次世代の担い手づくりへとつながっていくことも期待されます。

**大浜（海城公園3号集）でのサンゴの調査と回復**

調査年次ごとのサンゴの回復状況を示しています。

関連ホームページ

竜串自然再生プロジェクト：<http://www.tatsukushi-saisei.com>